

令和元年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報 告 書



日時	令和元年 10 月 23 日（水） 午後 6 時 30 分～8 時 10 分		
場所	山部福祉センター		
参加者数	22 人		
市側出席者	市長	北	猛俊
	総務部長	稲葉	武則
	市民生活部長	山下	俊明
	保健福祉部長	若杉	勝博
	経済部長	後藤	正紀
	建設水道部長	小野	豊
	教育部長	亀淵	雅彦
	企画振興課長	西野	成紀

【市長 開会のあいさつ】

昨年の地域懇談会は新庁舎と鉄道の存続に向けた取り組みで懇談しました。山部地域はJRに強い関心を持ってもらい、乗車率向上のための取り組みも熱心に進めてもらっています。JRの関係では、今年と来年の2年間で、地域の取り組みとJR存続に向けた思いを国に伝える期間です。令和3年からは、国が法改正をしてJR北海道に対する抜本的な支援の在り方を示すようになります。JR北海道もアクションプランということで、乗車率の向上や地域の方々に鉄道に関心を持ってもらうという取り組みを進める内容を策定しています。また、北海道と関係する自治体がそれぞれ臨時的、緊急的支援ということで総額2億円の支援をすることを決めました。運行に関わる利便性を向上するための支援ということで、市では150万円を9月の議会で決定したところです。現在の地方の財政状況では、支援を続けるのは難しいと思っていますので、国の支援を強く求めていきます。この2年間の取り組みでは、市民のみなさんにも協力をお願いすることになりますので、よろしくをお願いします。

今年度のテーマは、「これからの富良野市のまちそだて」と「地域の課題」です。富良野市のまちそだては、今年と来年の2年間で新しい総合計画を策定しますが、その総合計画の中にみなさんのご意見を反映させた内容にしていきたいと思っています。

総合計画は、住んでいる方々の身の回りの課題を解決し、より住みやすいまちを育てていく、産業を振興して地域の振興を図っていくということが主な目的になります。どんな小さなことでもご意見として出してもらい、それを総合計画に盛り込んでいくことで富良野の魅力づくりにつなげていきたいと思っています。

【懇談会の意見と回答】

環境（廃棄物処理）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○昨年の3月に北海道から災害廃棄物処理基本計画が出された。これをもとに各市町村は災害廃棄物処理計画を立てることが求められている。道内でも6自治体が進めている。富良野市では策定の時期をどのように考えているのか。	○関係部課と協議をして進めたいと思います。

福祉・社会保障（高齢者福祉）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○高齢者の買い物などの移動手段について、路線バスを寿光園前まで来てもらいたいという話があったが、バス会社からはできないと回答された。高齢者の交通事故が増えてきて、運転免許証の返納にもつながるような移動手段の確保を考えてほしい。</p>	<p>○山部地区はコミュニティーカーが走っていて、通院に行くときに自宅から駅までの距離を運行しています。その部分の利用枠を拡大するか、路線バスの運行経路やJRの問題もありますので、山部地区のみなさんの話を聞きながら、負担の在り方なども含めて、関係する部署により対策を考えていきたいと思えます。</p>
<p>○移動手段の問題で民生委員や隣近所に人たちの支援で送迎してもらっている人が多くなっている。いつまでもお世話になるわけにもいかない。根本的な対策をしないとどこにも出られない。速やかに対策して考え方だけでも示してほしい。</p> <p>○高齢者が増えてきて一人暮らしや高齢者夫婦が目立つようになってきている。一番多い要望は買い物にいく移動手段がないということ。高齢になると身体的な障がいが出てきて運転に不安を感じることから、運転免許証を返納する人も増えている。特に線路から芦別岳側に住んでいる人に多い。運転免許を返納すると完全に移動手段がなくなる。80歳を超えると、免許更新の試験は合格していても身体と神経の衰えの自覚がある。できることなら免許返納したいが、買い物や通院で非常に困るという現状が。運転免許証返納者に対する交通費への経済的な援助を考えてほしい。</p>	<p>○高齢者の免許返納については、返納ということだけではなく、高齢者ドライバーの踏み間違え事故を防止するための方策を検討しています。</p>

保健医療（地域医療）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○山部には診療所があるが、少し難しい病気になると協会病院に行かなければならない。免許を返納すると路線バスを使わなければならない。</p>	

防災（防災体制）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○山部地区全体で危険な箇所を見て回り、一番危険だと感じたのは旧山部第一小学校付近の14線川。昭和37年の水害では芦別岳に300mmの大雨が降って犠牲者が出た。堤防が決壊しそうな場所や橋に流木が危険な箇所を見極める必要がある。</p>	<p>○川の中に土砂が溜って流下断面をせまくしていることであふれることがあります。14線川は道の河川になります。北海道には河川内の土砂の掘削や立木の撤去の要望をしているところです。開発局では今年度、富良野市街地方面の空知川と富良野川の合流地点で浚渫（土砂上げ）を行い、空知川と布礼別川の合流地点は平成28年の災害後に浚渫をし、今年度は河川の中の立木を撤去しています。整備のほか、管理も大切です。引き続き国や道に要望をしていきます。</p>
<p>○子どもたちにも防災教育をして、現地を視察して説明してほしい。学校の先生にも避難する場所を間違えたり、誤った対応がないようにしてほしい。</p>	<p>○学校では毎年見直しを行っている危機管理マニュアルにもとづき、地震や火災についての避難訓練を毎年行っています。授業のなかでも避難訓練と合わせて防災教育に取り組んでいます。先生方への意識付けは、校長会でのお知らせや管理職を中心に学校内での周知連携を進めながら取り組んでいます。</p>

基盤整備（都市空間）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○除雪業者のオペレーターが上手くない。毎年苦情がある。業者を変えてほしいという要望はできるのか。	○除雪は市内全域を一括発注しています。組合の中で地区割りをしています。運転手の上手下手の苦情もありますが、全体的に運転手が高齢化している現状があります。一方、若い運転手を育てる必要もあるため差が生じますが、除雪を請け負ってくれる業者を大事にしていく必要があります。

基盤整備（交通体系・公共交通）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○ふらのバスに山部北町と西町の町内会と寿光園で話し合い、山部中学校の近くにバス停を設けてほしいという要望を出したが、できないと回答された。	
○富良野道路が一部開通して、五区から島ノ下の手前まで通行できるようになった。この先、中富良野や旭川まで開通した場合、市街地を走る車が減っていることが懸念されるが、どのように考えているのか。	○富良野道路は昨年 8.3km が開通して、現在は中富良野方面の工事をしています。旭川十勝道路は、旭川から占冠までの 120km を整備する計画です。渋滞緩和、救急、防災、観光の視点から推進しています。交通の流れが変わることが懸念されますが、市としてはまちにも観光で立ち寄ってもらいたいということで中心市街地活性化に取り組んでいます。

産業（雇用）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○人口減少が進む中、富良野は賃貸物件の家賃が高く、入居者の所得と見合っていない。家賃が高いというのはまち全体の問題。少しでも住みやすいまちにするためにも次の総合計画で良い方法を考えてほしい。</p>	<p>○若い人たちが住むには家賃が高いということで、今年度からU・Iターンの人を対象に企業が住宅手当をしたものに対して市がその一部を補助する制度をはじめました。</p> <p>○住宅の取得やリフォームの経済的な支援をしています。来年度に向けて新たな支援を検討しています。例えば、中古住宅や新築住宅の取得への支援のほか、多世帯住宅や子育て世帯にはさらに手厚い支援ができないかを考えているところです。</p>

行財政運営（人口）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○人口減少のなかで高齢者の占める割合がほとんど。富良野市はどこをめざしているのか。ICTにともなう対応や対策が必要になるし、インフラがないと使うことはできない。</p>	<p>○人口減少に対する考え方は、推計で1万4千人という数字がでています。新しい総合計画を策定する段階で、どの程度の人口が必要なのかという目標をつくっていきます。そして、その人口を維持するために、あるいは人口を増やしていくためにどんな施策を打っていけるのかということを総合計画で示していきたいと思います。そのためにもまちの魅力を上げていくということで、生活に関わる利便性を上げていく、消費税が上がって負担も増えている中、その負担を軽減するために情報通信技術（ICT）やロボティクスを導入していくという方策を考えていきたいと思えます。</p>

	<p>○高齢者の移動手段は市全体の問題です。高齢者の運転免許返納もありますが、いつまでも健康で車を運転してもらい、外出する機会を増やしてもらいたいと考えていますが、具体的な方策は考え中です。</p> <p>○地域の課題ということでは、コミュニティーバスの抜本的な検討もありますが、地域の実情を踏まえて現在の制度で対応できないのか。対応できない部分は地域と行政がどのようにして連携することができるのかという議論をしていきたいと思ひます。</p>
--	---

行財政運営（ICT）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○農村地域に光回線整備しているが、今後ICTの利活用を導入するとき、すべての市民が同じサービスを受けられるようになるのか。光回線は市全域のすべての世帯に整備するのか。</p>	<p>○光回線はNTTが整備したのは富良野市街地と山部市街地です。農村地域はNTTの整備は行われず、仮に全域に光回線を整備した場合は約11億円の経費が必要という試算をしています。さらに農村地域の全世帯にアンケート調査をしたところ加入希望者は3割以下との結果から、農村地域は学校と公共施設までを整備することにしました。整備にともない、電柱の3スパン分の475世帯が光回線をつなげることができるようになりました。そのうち、光回線をつなげているのは2割程度となっています。一方で、携帯電話の5Gが2020年の供用開始に向けて整備が進んでいることから、ICTの利活用とあわせて新しい総合計画になかで検討していく必要があると考えています。</p>

【市長 閉会のあいさつ】

人口減少に対するまちづくりの対応、医療の充実、防災とインフラの整備、除雪体制、早急に行きたいものは、すぐに対応したいと思います。

行財政運営（人口）

人口減少は、総合計画のなかで目標を定め、それに向けて取り組みをしていきたいと思っています。当初は2万人を維持したいと考えていましたが、毎年300人減少している現状です。5年後には2万人を割るのではないかと考えています。希望としては2万人ですが、現実問題として富良野の人口をどの程度を目標にしていくのかを検討していきたいと思っています。

福祉・社会保障（地域福祉）

医療の充実では、診療所の医師確保も含めて存続の方向で検討しています。しかし、どうしてもセンター病院に通院しなければならないときもあります。医療機関の利用の在り方は、本当に診療所が必要なのか、移動手段を確保してセンター病院に通院することが可能なのか、地域の中でも検討していただき、総合計画になかにかたちをつくっていききたいと思っています。

防災（防災体制）

防災の関係は、国の国土強靱化計画によってインフラ整備に力を入れています。しかし、この計画は来年度で終わることになります。国、道には河川の浚渫や整備について要望をしています。その際、国土強靱化計画を延長してもらうよう要請しています。防災体制についても総合計画のなかで取り組んでいきたいと思っています。

行財政運営（ICT）

ICTの関係では、来年からマイナンバーカードに保険証の機能を持たせることとなります。マイナンバーカードにはICチップが付いていて、さらに多くのサービスを付けることが可能です。例えば、消費税増税にともない、キャッシュレスで支払いしたときにはポイントが付与されますが、高齢者はそうしたサービスが受けられないという懸念もあります。しかし、高齢者にもポイントをとってもらうような機能も持たせることができます。どんな機能を持たせるのかは、総合計画の策定の途中でもみなさんから意見をいただきたいと思っています。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
40-49 歳	男性	・高齢化と運転免許証返納による買い物や通院で困る人がいないように、交通の構築をすることが急務
60-69 歳	男性	・もう少しスピード感を持ってほしい。 ・古いアンケートの実績では本当のことが分からない。 ・光回線はいろんな情報があり不安。
70 歳以上	男性	・山部地区第6水門の防災対策をしてほしい。